

## 地域連携だより

No. 12

### よりよい医療連携推進のために

地域連携室では、地域医療機関様、介護支援機関様等と連携させていただき、「病診連携」「介護支援」「医療相談」等を通じて、地域の皆様に信頼いただける医療提供の推進を図っております。

### 医療懇談会を開催

7月29日、小笠医師会様、行政、当院とで「地域連携の原点から見た今後の展開」をテーマとし、①日常診療での病院、診療所の果たす役割②よい連携の構築のために求められていること③地域の救急医療の質の向上について意見交換を行いました。

小笠医師会の先生や当院医師から現状の報告がされた後、医療機能分担を考え、「かかりつけ医」から病院へという流れをしっかりと作っていくことの必要性や市立病院の救急外来受診について行政も関わりを持つことが必要であり、そのことを市民の皆様にも理解していただかなくてはならないという意見が出されました。

行政からは、戸塚市長の指示事項として、ホームドクター制（かかりつけ医）の推進、市立病院の正しいかかり方、夜間当番制、在宅輪番制について、協議会で検討したり、広報を使って市民の皆様を知っていただくように努力していく旨のお話がありました。また、本年度10月から乳幼児医療所得制限の撤廃や乳幼児健診、乳ガン検診の大切さ、病院へのかかり方について、広く市民に知らせていかななくてはならないということが話されました。

### 今後の方向性

今後、こうした問題を医師会と市立病院が連携し、市民の皆様にもアピールしていくことが必要であることや市立病院は専門性を出し、特

微ある高度な医療提供をしていくなくてはいけないことが確認されました。

### 認定試験に合格!!



鈴木康章 榛葉 豊 糟谷信貴 天野守計  
中山 修 落合義隆 畑中貴台

用画像情報管理士」の3つの試験に8名の放射線技師が合格しました。

「放射線管理士」は、医療施設における放射線の安全管理に貢献できる者に与えられます。

「放射線機器管理士」は、適正な医療を確保するため、機器の性能維持並びに安全性を確保することを目的として認定されます。

「医用画像情報管理士」は、専門的な知識と技能を有することにより、医用画像管理の向上を図り、国民への貢献を目的としています。

日本放射線技師会では、様々な講習会や認定制度を設けています。当院の診療放射線技師も、各種技師格に認定されています。

今回は「放射線管理士」、「放射線機器管理士」、「医

講習等により身につけた知識と技術を当院の放射線室の業務に役立てるとともに、これからもさらに上位の技師格を目指して、がんばっています。

### 剖検諸霊供養祭を行います

平成16年10月から平成17年9月までに病理解剖に協力され、医学水準の向上に貢献された故人のご冥福をお祈りいたします。

日時 平成17年10月28日(金) 午後2時  
ところ 富士見台霊園 剖検慰霊碑

